

すわか文化村第69回企画

さとにきたら ええやん

誰でも利用できます。
こどもたちの遊びの場です。
お母さん お父さんの休息の場です。
学習の場です。
生活相談 何でも受け付けます！



監督・撮影 重江良樹

2015年 100分

日雇い労働者の街・釜ヶ崎で三八年間続く子どもたちの集い場「こどもの里」
人情が色濃く残る街の人々の奮闘を描く、涙と笑いあふれるドキュメンタリー

とってもしんどいけど、
とってもあたたかい。
感動の涙にくれた。
自主上映会、全国で好評！
(文化村 毛利)

お子さんの同伴
もOKです

2017 **4月9日** (日)

大阪市西成区釜ヶ崎。“日雇い労働者の街”と呼ばれてきたこの地で38年にわたり取り組みを続ける「こどもの里」。“さと”と呼ばれるこの場所は、障害の有無や国籍の違いに関わらず、0歳からおおむね20歳までの子どもが無料で利用することができます。親や大人たちも休息できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、地域の貴重な集い場として在り続けてきました。時に悩み、立ち止りながら全力で生きる子どもたちと、彼らに全力で向き合う職員や大人たちに密着。現在求められている“居場所”の原風景がそこにあります！

3回上映

午前10時/午後1時30分/5時 上映開始

上映後、自由参加のおしゃべり会もあります♪

会場

諏訪湖ハイツ コンベンションホール(中3階)
(おやか総合福祉センター TEL0266-24-2290)

参加費

1000円(中~大学生500円)

お問合せ

TEL 080-1040-7463